

## 特別委員会の報告から

特別委員会の令和2年(2020年)度の活動経過について委員長が本会議で報告を行いました。  
その内容の一部をお伝えします。

※新型コロナウイルス感染症については、新型コロナと略して表記しています。

### 〈令和2年7月9日開催分〉

- ・遠方から来るボランティアに宿泊施設を提供することに対する市の認識について、理事者から宿泊場所などは、ボランティア本人に用意してもらうのが基本と考えており、まずは大阪府内で、宿泊を要しないボランティアを募集するなどの工夫を検討していく必要があるとの答弁がありました。
- ・新型コロナ対策の市への確認については、継続して協議していくことを、また、同感染症に係る本市議会の対応マニュアルの策定については、他市議会等の先進事例を基に委員間協議を行い、策定を目指すことを、それぞれ決定しました。

### 〈令和2年11月11日開催分〉

- ・新型コロナに係る本市議会の対応マニュアルの策定について協議を行い、すでに施行中の吹田市議会緊急時初動対応マニュアルに感染症編を追加して改定することを決定しました。
- ・新型コロナに係る市への確認の進め方については、次の役員改選までの本委員会においては理事者の出席は求めず、1回目の緊急事態措置期間が解除され、本市の体制が新型コロナウイルス感染症等対策本部会議に移行した令和2年6月1日までの本市の対応などについて、委員間で確認し、協議を進めることを決定しました。

### 〈令和2年12月15日開催分〉

- ・令和2年12月15日に開催した本委員会では、令和2年度の本委員会の行政視察は実施しないことを決定しました。

### 〈令和3年2月4日開催分〉

- ・委員で検討して作成した新型コロナに係る本市議会の対応マニュアルの素案中の濃厚接触者と判断された議員に係る規定については、議会運営委員会小協議会で検討中のオンライン会議(委員会)の導入に関し結論が出れば、それに沿った修正を加え、次回の委員会でマニュアル案を取りまとめることを決定しました。

### 〈令和3年4月20日開催分〉

- ・新型コロナに係る本市議会の対応マニュアルの策定について、委員会等のオンライン開催を踏まえて修正を行ったマニュアル案が提出され、その後の委員間協議において、取りまとめに至りました。
- ・本委員会の今後の在り方について、平成30年に発生した自然災害への対応について、市が取りまとめた報告書のすべての項目の検証を行ったこと、また、本市議会の緊急時初動対応マニュアルを策定したことを踏まえ、本委員会の設置目的が達成されたことを委員間で確認し、本委員会を廃止するとの結論に至りました。(本委員会は、令和3年5月27日の本会議で廃止しました。)

**防災・減災等対策特別委員会**  
設置目的：平成30年(2018年)に発生した地震や台風などの自然災害への対応について議会内の対応も含めて検証するとともに、災害に強いまちづくりや安心安全のまちづくりを目指し、初動態勢等について検討する。



飛まつ感染防止用の透明アクリルパネルを議場に設置するなど、新型コロナウイルスの感染対策に取り組んでいます。